

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)アイミッションズパーク寝屋川	階数	地上4階
建設地	大阪府寝屋川市讃良東町	構造	S造
用途地域	市街化区域、準防火地域	平均居住人員	80 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,322 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年9月 予定	評価の実施日	2025年5月20日
敷地面積	5,412 m ²	作成者	東川栄作
建築面積	2,440 m ²	確認日	2025年5月20日
延床面積	9,246 m ²	確認者	佐藤工業株式会社玉置保行

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質 Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

項目	スコア
音環境	3.0
温熱環境	2.7
光・視環境	2.7
空気質環境	3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

項目	スコア
機能性	2.1
耐用性	3.0
対応性	4.4

Q3 室外環境（敷地内）

Q3のスコア = 2.4

項目	スコア
生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.0

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

項目	スコア
建物外皮の	4.5
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	2.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

項目	スコア
水資源	3.4
非再生材料の	4.0
汚染物質	3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

項目	スコア
地球温暖化	3.9
地域環境	2.7
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合 敷地周辺環境への配慮として、両口、駐車スペース、出入口位置を計画し、省エネ・省資源を考慮した器具・材料の選定を図りました		0
Q1 室内環境 昼光率や自然換気有効開口面積率等、事務室の室内環境に配慮	Q2 サービス性能 主要内装仕上げ材及び給排水配管材について更新必要間隔の長い材料を選定。 階高・荷重のゆとりを図り、コアの位置を端部に配置して空間の自由さを工夫。	Q3 室外環境（敷地内） 隣接する河川・歩道側に植栽を設置し良好な景観形成を図る
LR1 エネルギー LED照明の採用により一時エネルギー消費量の削減に配慮	LR2 資源・マテリアル 節水型器具の採用、高強度の鉄骨材を使用し、再利用可能なユニット部材を利用。GWPが低い断熱材を使用することで環境への影響に配慮。	LR3 敷地外環境 燃烧機器は採用せず、駐車場、バイク、自転車の駐輪スペースの確保。 出入口2箇所の設置により敷地外環境への影響に配慮

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される。

【建物概要】 建物名称		(仮称)アイミッションズパーク寝屋川新築工事						
建設地		大阪府寝屋川市讃良東町						
用途／区分		工場 事務所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	断熱性能						5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分		評価対象外			評価対象外	
④	エネルギー消費性能						5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分		評価対象外			評価対象外	
		非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分					5	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

エネルギー消費量の報告						報告しない	
-------------	--	--	--	--	--	-------	--

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮	3.9	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環境 2. 2 温熱環境悪化の改善	2.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制	4.5	5
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他		
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項		